【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公開番号】特開2008-289054(P2008-289054A)
【公開日】平成20年11月27日(2008.11.27)
【年通号数】公開・登録公報2008-047
【出願番号】特願2007-134135(P2007-134135)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/63　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/173　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　1/32　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　1/04　(2006.01)
Ｈ０４Ｗ　52/02　(2009.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/63　Ｂ
Ｈ０４Ｎ　7/173　６３０
Ｈ０４Ｎ　1/00　Ｃ
Ｇ０６Ｆ　1/00　３３２Ｚ
Ｇ０６Ｆ　1/04　３０１Ｃ
Ｈ０４Ｂ　7/26　Ｘ

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月17日(2009.2.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
　また、起動制御部１８０は、トリガ信号出力部１７０によって出力されたトリガ信号に応じて、停止制御処理で要求した制限の解除を要求する解除要求信号をクロック／電源制御部１６０に出力し、間欠動作の稼動期間への移行を信号処理制御部１５０に要求する起動制御処理を行うようになっている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６７】
　クロック／電源制御部１６０は、起動制御部１８０から出力された制限要求信号に応じて、第１の信号処理部１２０および信号処理制御部１５０の少なくとも一部に供給するクロックおよび電源の少なくとも一方を制限することによって、データ処理装置３００の消費電力を抑制するようになっている。また、クロック／電源制御部１６０は、起動制御部１８０から出力された解除要求信号に応じて、当該制限を解除するようになっている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１００
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０１００】
クロック／電源制御部１６０は、起動制御部１８０から出力された制限要求信号に応じて、第１の信号処理部１２０および信号処理制御部１５０の少なくとも一部に供給するクロックおよび電源の少なくとも一方を制限することによって、データ処理装置５００の消費電力を抑制するようになっている。また、クロック／電源制御部１６０は、起動制御部１８０から出力された解除要求信号に応じて、当該制限を解除するようになっている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１４６】
また、起動制御部１８０は、送信データ監視部１９０によって出力されたデータ処理要求信号に応じて、停止制御処理で要求した制限の解除を要求する解除要求信号をクロック／電源制御部１６０に出力し、間欠動作の稼動期間への移行を信号処理制御部１５０に要求する起動制御処理を行うようになっている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１４７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１４７】
クロック／電源制御部１６０は、起動制御部１８０から出力された制限要求信号に応じて、第１の信号処理部１２０および信号処理制御部１５０の少なくとも一部に供給するクロックおよび電源の少なくとも一方を制限することによって、データ処理装置７００の消費電力を抑制するようになっている。また、クロック／電源制御部１６０は、起動制御部１８０から出力された解除要求信号に応じて、当該制限を解除するようになっている。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１５３】
まず、第２の稼動期間において、データ処理装置７００では、所定のフレーム数（例えば、１０フレーム）分のＡＡＣの復号処理が連続して行われる。次いで、この復号処理の結果をＳＢＣデータに符号化するＳＢＣ処理と、ＳＢＣデータをパケットデータに変換するプロトコル処理とが行われ、パケットデータが送信データ格納部１３０に格納される。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１５８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１５８】
一方、第１の信号処理部１２０による信号処理が行われなくなる時刻Ｔ２からは、送信データ格納部１３０に格納されたデータが第１の無線通信部１４０によって消費されるだけとなり、送信データ格納部１３０のデータ格納量は、減少していく。